KENWOOD

ライフスタイルハイファイコンポーネントシステム

LCA-1

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5355-00 00 MA (J) CR 0305

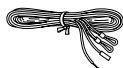
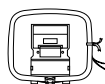
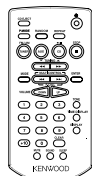
ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

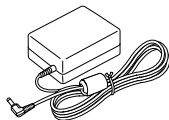
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

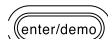
AM ループアンテナ（1 個）

FM 室内アンテナ（1 本）

カード型リモコン（1 個・ボタン電池内蔵）

お使いになる前に
カード型リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。

AC アダプター（1 個）

電源コード（1 本）

デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能 （表示のみ）があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

"DEMO OFF" （デモンストレーション解除）：
デモンストレーション中に本体の **enter/demo** キーを押す

"DEMO ON" （デモンストレーション実行）：
電源がオンの時に **enter/demo** キーを押す（2秒以上）

- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的にデモンストレーションがオンになります。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

安全編

準備編

基本編

応用編

知識編

本機の特長

CD-R／CD-RW 再生対応

音楽CDの再生はもちろん、CD-R(Compact Disc Recordable)(追記型)、CD-RW(Compact Disc Rewritable)(書き換え型）に録音された曲の再生ができます。
ファイナライズされたディスクのみ再生可能です。ただし、ディスクによっては再生できない場合があります。

便利なタイマー機能

- **ウィークリータイマー再生機能：**
  タイマー再生、AIタイマー再生を２系統（**PROG. 1**, **PROG. 2**）設定ができます。(AIタイマーは、タイマー再生開始後、設定したレベルまで徐々に音量が上がります。)
- **おやすみタイマー機能：**
  設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、おやすみになりたいときに便利です。

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

警告

ACアダプターは交流100ボルトの電圧で使用する

この機器のACアダプターは、交流100ボルト専用です。
指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

布や布団などでおおったりつつんだりしない

ACアダプターは、風通しの悪いところで使用すると内部に熱がこもり、火災の原因となります。

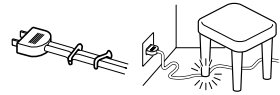
風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。
火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

きれいにしましょう

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

落としたらACアダプターを抜く

ACアダプターや機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

ACアダプターや機器のケースを開けたり改造したりしない

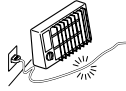
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

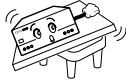
指定のACアダプターを使う

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

電源コード、ACアダプターを熱器具に近づけない

電源コード、ACアダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときはACアダプターを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときはACアダプターを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際はACアダプターを抜く

お手入れの際はACアダプターをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

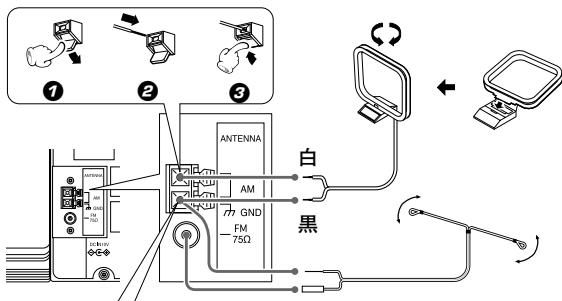
- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

接続のしかた

付属アンテナの接続

⚠ 接続上のご注意	接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

AM ループアンテナ

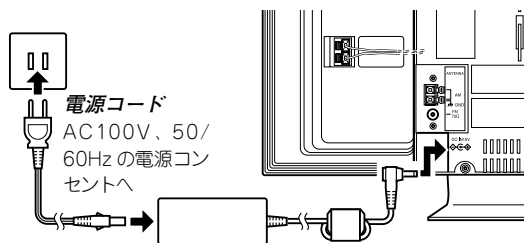
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM 室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

AC アダプターの接続

この製品には、付属の AC アダプター「W09-1299」（JEITA 規格・極性統一形プラグ付き）をご使用ください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、" 故障かな？と思ったら..." を参照してマイコンをリセットしてください。→44

⚠ ACアダプター使用上のご注意

ACアダプターを、布などでおおうことやまわりが囲まれた狭い場所に置かないでください。
風通しの悪い所で使用すると内部に熱がこもり、火災の原因となります。

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、本機をテレビやパソコンから少しはなして置いてください。
- 安定した場所に設置してください。

他の機器（市販品）との接続

⚠ 接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

⚠ 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

FM 屋外アンテナ

アンテナアダプター（市販品）

ANTENNA
AM
GND
FM 75Ω

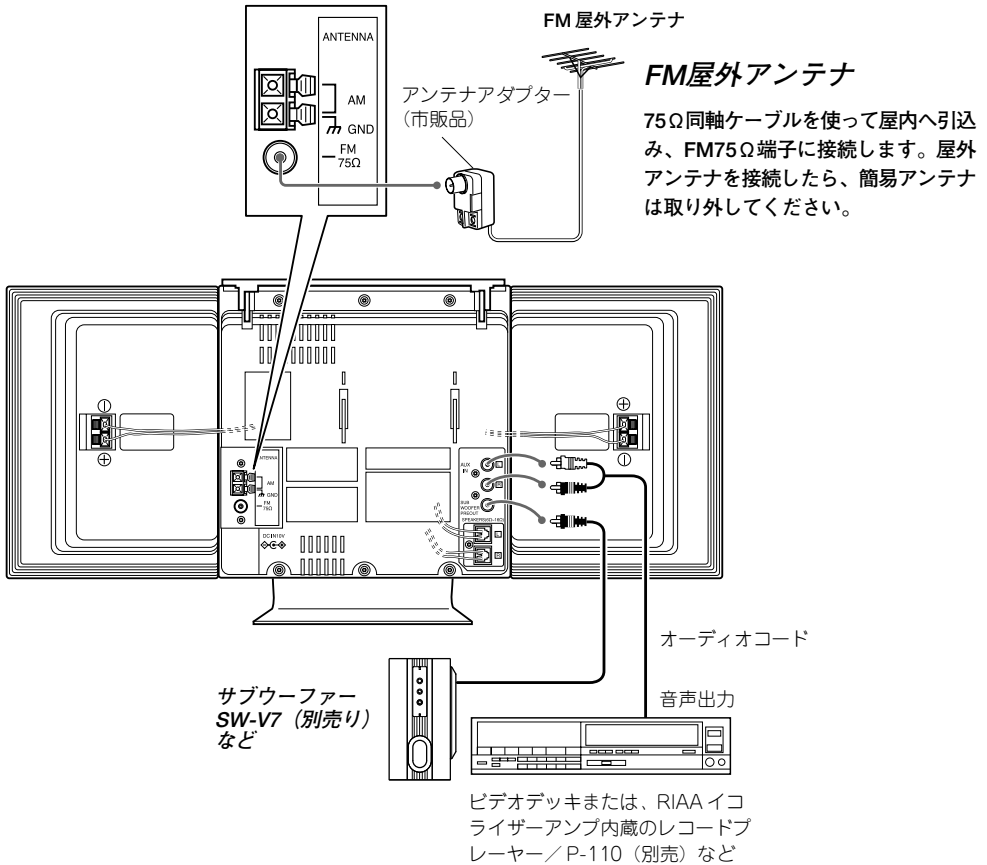
FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

オーディオコード

音声出力

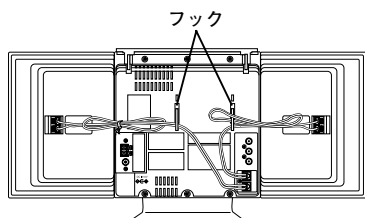
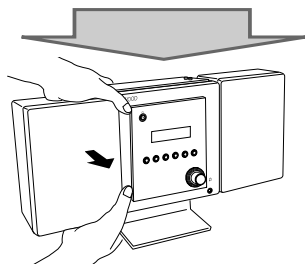
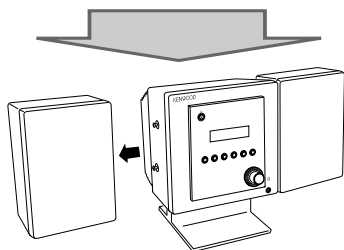
サブウーファー SW-V7（別売り）など

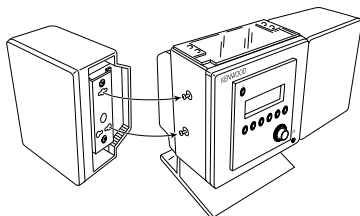
ビデオデッキまたは、RIAA イコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー／ P-110（別売）など

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

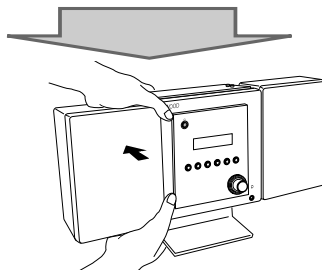
スピーカーの取り外しと取り付け

本体からスピーカーを外して、お好みの場所に設置することができます。

スピーカーの取り外し、取り付け、スピーカーコードの取り替えをするときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。本体にCDが入っているときは、CDを取り出しておいてください。
スピーカーを片方のみ外した状態では不安定になり、振動、衝撃が加わると転倒する場合があります。取り外し、取り付けるときはご注意ください。

スピーカーの取り外し

背面に束ねてあるスピーカーコードをフックから外します。

スピーカーを後ろから矢印の方向に押して出します。
スピーカーを落とさないようにご注意ください。

本体からスピーカーを取り外します。

スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、スピーカーをテレビやパソコンから少しはなして置いてください。

スピーカーの取り付け

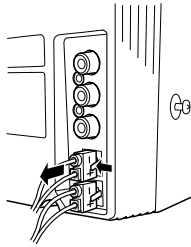
本体の凸部とスピーカーの凹部を合わせます。
左右のスピーカーとも下の凹部は後ろ側を使います。

スピーカーを前から矢印の方向に押して入れます。

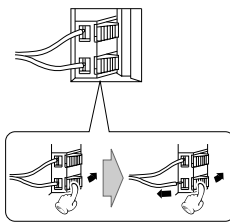
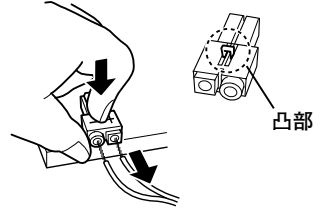
取り外したスピーカーの設置について

本体との取り付け面を下にしてスピーカーを設置します。
本体との取り付け面にはすべり止めが付いています。

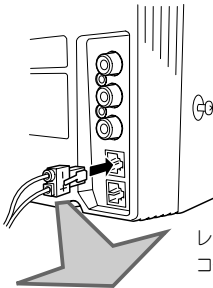
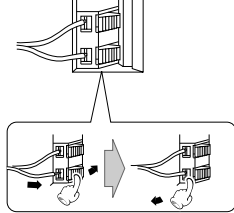
スピーカーコードの取り替え

本体からスピーカーを外してご使用になる場合、スピーカーコードが短いときなど市販のスピーカーコード〔AWG24 ～ 18（導体部の直径 0.511mm ～ 1.024mm）規格〕に取り替えることができます。
市販のスピーカーコードの両端は、あらかじめ約1cm 程度ビニール被覆を外し、導線がばらけないようによじっておいてください。

本体背面

矢印のレバー部を押しながら、スピーカーコネクタを抜きます。

スピーカー背面

レバーを押しながら、スピーカーコードを抜きます。

スピーカーコネクタの凸部を固い机などに押しつけながらスピーカーコードを抜きます。

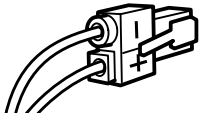
スピーカーコネクタの凸部を固い机などに押しつけながら、用意した市販のスピーカーコードを入れます。

- 導線がばらけていると、コネクタからはみ出してショートする危険があります。十分によじってから導線をコネクタに入れてください。
- スピーカーコードを入れたあと、コネクタを持って軽くスピーカーコードを引いて抜けないことを確認してください。

本体背面

スピーカー背面

レバーを押しながら、スピーカーコードの導線を端子に差し込みます。

スピーカーコネクタの"－"側コード ➡ スピーカーの黒い端子と接続

スピーカーコネクタ の"＋"側コード ➡ スピーカーの赤い端子と接続

本体背面にスピーカーコネクタを差し込み、スピーカー背面のスピーカー端子にスピーカーコードを接続します。

- スピーカーコネクタはカチッと音がするまで確実に本体のスピーカーコネクタ受部に入れます。

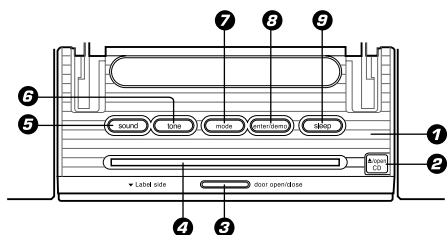
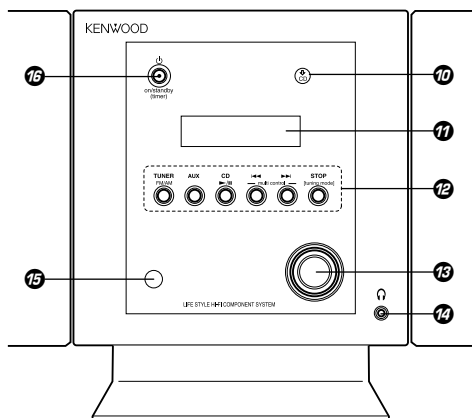
- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。
- 極性（"＋"と"－"）を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- スピーカーコネクタ受部に金属などの異物を入れないようにしてください。

各部のなまえと働き

本体部

上面部

正面部

❶ ドア → 15

❷ ▲ /open CD 取り出しキー → 23

CD を取り出すときに使います。

❸ door open/close ドア開閉キー → 15

ドアを開閉するときに使います。

❹ CD 挿入口 → 22

❺ sound キー → 21

EX.BASS を選ぶときに使います。

❻ tone キー → 21

音質の調整に使います。

❼ mode キー → 15

設定モードに切り換えるときに使います。

❽ enter/demo キー → 2 → 15

設定モード操作などに使います。

デモンストレーションのオン／オフを切り換えるときに使います。

❾ sleep キー → 36

おやすみタイマーを設定するときに使います。

❿ CD インジケーター → 22

CD が入っているときに点灯します。

⓫ 表示部 → 19

⓬ 基本操作キー

TUNER FM/AM キー → 25

キーを押すたびに入力をFM放送、AM放送に切り換えます。

AUX キー → 30

入力を AUX に切り換えます。

CD ►/II キー → 22

入力をCDプレーヤーに切り換え、再生を開始します。CD 再生中に押すと一時停止をします。

I◄◄ multi control キー

►►I multi control キー

– CDの曲の飛び越し → 23

– プリセット放送局を選ぶ → 25

– 設定モードの項目を選ぶ → 15

STOP/[tuning mode] キー

CD のとき： → 23

ディスクの操作を停止するときに使います。

チューナーのとき： → 28

オート選局（ステレオ受信）とマニュアル選局（モノラル受信）の切り換えを行います。

スタンバイ状態のとき： → 35

表示部に時計を表示します。

⓭ 音量つまみ → 20

右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。

スタンバイ状態のとき、⓬ 内の TUNER FM/AM キー、AUX キー、CD ►/II キーを押すと、電源がオンになります。

- **TUNER FM/AM** キーの場合、電源をオフにする前の放送が受信されます。
- **CD ►/II** キーの場合、CDが入っていれば再生します。

⑭ ヘッドホン端子 →21

ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

⑮ リモコン受光部 →18

リモコンからの信号を受信します。

⑯ ⏻ キー →20

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

on/standby (timer) インジケーター

電源がオンのときはオレンジ色で点灯します。

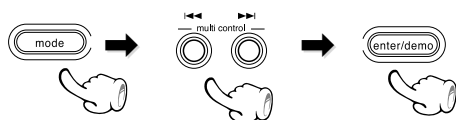
電源がスタンバイ状態になると次のように点灯します。

赤色　：通常のスタンバイ状態

緑色　：タイマースタンバイ状態

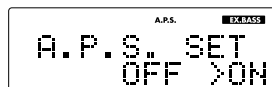
設定モードの基本操作

各種機能の設定や調整は、**mode**キーを使って操作します。

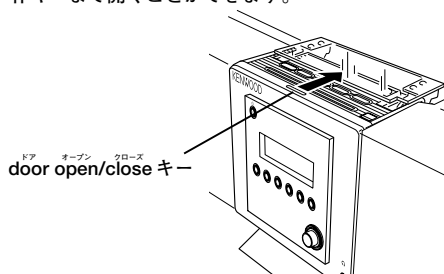
modeキーを押して設定モードにし、**⏮、⏭ multi control**キーで設定し、**enter/demo**キーを使って確定します。

- **mode**キーを押してから**⏮、⏭ multi control**キーを押すと以下のように表示が切り換わります。

  "TIMER SET"
  " ケンメイ セッテイ "
  （入力がチューナーのときのみ）
  "AUX INPUT"
  （入力が外部入力のときのみ）
  "BALANCE"
  "A.P.S. SET"
  "DISPLAY SET"
  "TIME ADJUST"

- 「>」側の設定が選ばれます。

  例：「ON」を選んでいるとき

- 20 秒以上操作しないと設定モードは解除されます（TIME ADJUST、TIMER SET は除く）。

ドアの開閉について

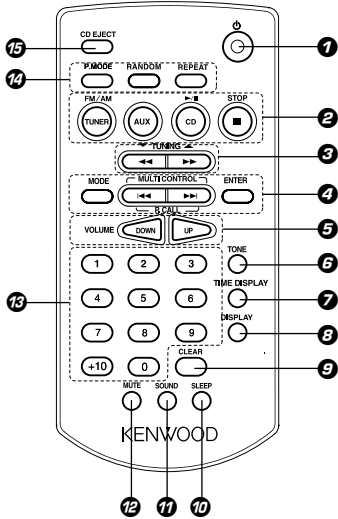
本機上面のドアは、door open/closeキーを押すと操作キーまで開くことができます。

ドアを閉じるときは、もう一度 door open/close キーを押します。

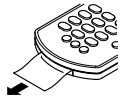
- 電源をオフにしたときも、ドアは自動で閉まります。
- ドアは無理に手で閉めないでください。

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中（赤色、緑色）は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

リモコンの使いかた

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

お使いになる前に
カード型リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。

❶ ⏻ キー → 20
電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❷ **基本操作キー**

TUNER FM/AM キー → 25

AUX キー → 30

CD ►/II キー → 22

STOP ■ キー → 23 → 28 → 35

❸ **TUNING ▼/◄◄ キー**

TUNING ▲/►► キー

チューナーのとき： → 28
放送局の選択に使います。

CD のとき： → 23
早送り、早戻しに使います。

❹ **MODE キー** → 17
設定モードに切り換えるときに使います。

MULTI CONTROL |◄◄ / P.CALL |◄◄ キー
MULTI CONTROL ►►| / P.CALL ►►| キー

– CDの曲の飛び越し → 23
– プリセット放送局を選ぶ → 25
– 設定モードの項目を選ぶ → 17

ENTER キー → 17
設定モード操作などに使います。

❺ **VOLUME UP キー** → 20
VOLUME DOWN キー
音量を調整するときに使います。

❻ **TONE キー** → 21
音質の調整に使います。

❼ **TIME DISPLAY キー** → 24
CD の時間表示を切り換えるときに使います。

❽ **DISPLAY キー** → 24 → 28
タイトルや時計を表示させるときに使います。

❾ **CLEAR キー**
プリセットした放送局を消去するときに使います。→ 29
CD のプログラムした曲を取り消します。 → 32

❿ **SLEEP キー** → 36
おやすみタイマーを設定するときに使います。

⓫ **SOUND キー** → 21
EX.BASS を選ぶときに使います。

⓬ **MUTE キー** → 21
一時的に音を消したいときに使います。

⓭ 数字キー
CD の曲を選ぶときや、TUNER のプリセット呼出しキーとして使います。 → 23 → 25

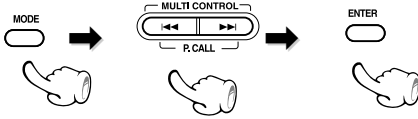
⓮ **P.MODE キー** → 26 → 31
オートプリセットした放送局名を切り換えるときに使います。
CD をプログラム再生するときに使います。

RANDOM キー → 34
CD の曲順を順不同に再生します。

REPEAT キー → 33
CD を繰り返し再生するときに使います。

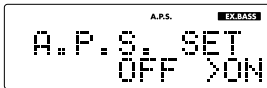
⓯ **CD EJECT キー** → 23
CD を取り出すときに使います。

設定モードの基本操作

各種機能の設定や調整は**MODE**キーを使って操作します。
MODEキーを押して設定モードにし、|◀◀、▶▶|キーで設定し、**ENTER**キーを使って確定します。

- **MODE**キーを押してから|◀◀、▶▶|キーを押すと以下のように表示が切り換わります。

  "TIMER SET"
  " ケンメイ セッテイ "
  （入力がチューナーのときのみ）
  "AUX INPUT"
  （入力が外部入力のときのみ）
  "BALANCE"
  "A.P.S. SET"
  "DISPLAY SET"
  "TIME ADJUST"

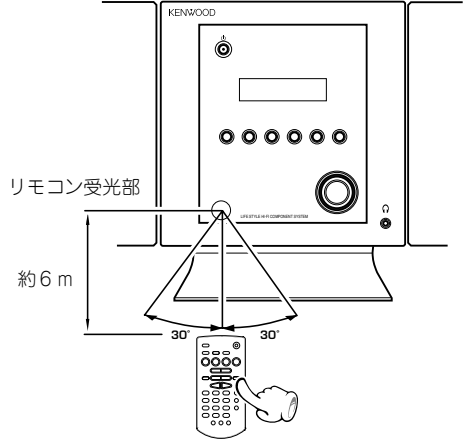
- 「>」側の設定が選ばれます。

  例：「ON」を選んでいるとき

- 20 秒以上操作しないと設定モードは解除されます（TIME ADJUST、TIMER SET は除く）。

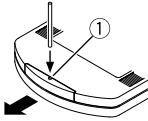
操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ⏻ キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約１秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

リモコンボタン電池の交換

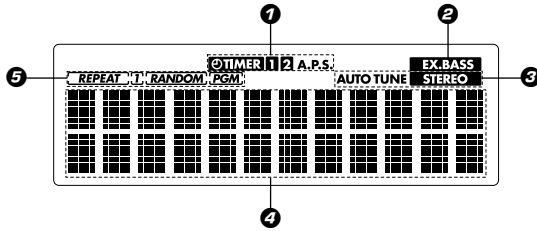
市販のボタン電池（CR2025）と交換します。

❶ ① の穴にピンのような細いものを差し込んで引き出す

❷ 新しいボタン電池と交換する

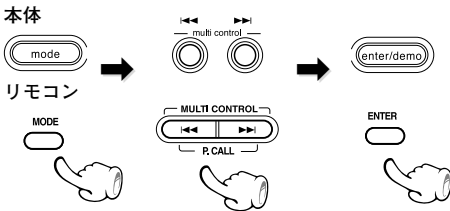
電池の極性に注意して入れます。

- 付属のボタン電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
- 操作できる距離が短くなったら、新しいボタン電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

表示部

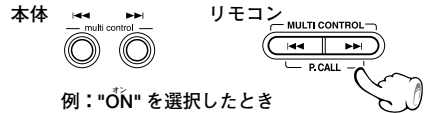
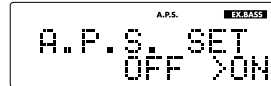
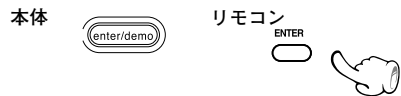
本文中の表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。

❶ タイマー関連、A.P.S. 表示
❷ EX.BASS 表示
❸ チューナー関連表示
❹ 文字情報表示
❺ CD特殊再生表示

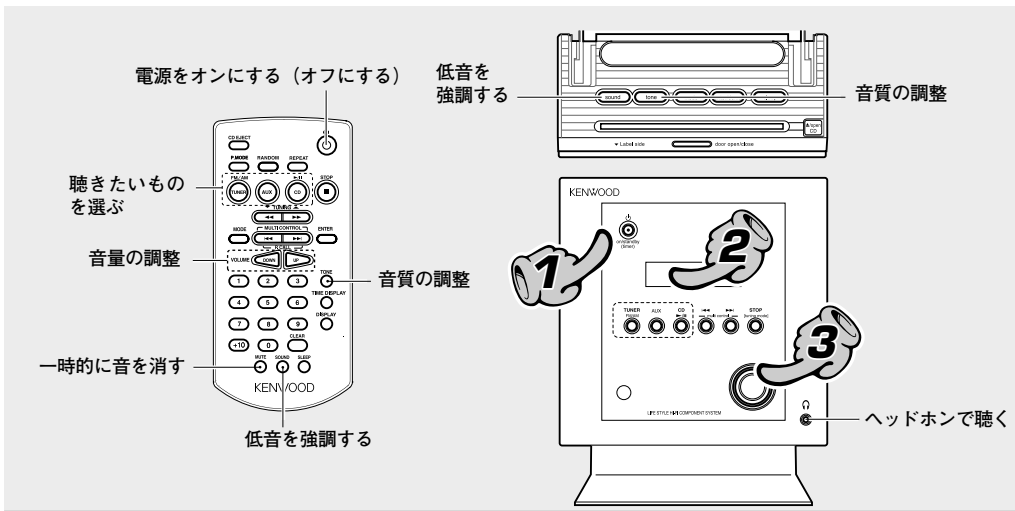
オートパワーセーブ機能について（A.P.S.：Auto Power Save）

電源がオンで、CDが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作でオン／オフが選べます。

❶ "A.P.S.　SET" を選ぶ

|◀◀ または ▶▶| キーを押して "A.P.S.　SET" を選ぶ

（"A.P.S. SET" が点滅中に enter/demo キーを押す）

❷ "ON" または "OFF" を選択する

❸ 確定する

- この機能が働いているときは、表示部に「A.P.S.」が点灯します。
- 入力切換が TUNERまたはAUX のときは、音量がゼロ（VOLUME 0）または MUTE がオンのときに限り働きます。

基本的な使いかた

1. 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときに ⏻ キーを押すとオフ（スタンバイ）になります。

- **TUNER FM/AM**、**AUX**、**CD ►/II** キーを押しても、電源がオンになります。
  （ワンタッチオペレーション機能）
  CD を選んだとき、すでに CD が入っていると、再生が始まります。

2. 聴きたいものを選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD → 22
ラジオ（TUNER FM/AM） → 25
外部入力（AUX） → 30 ［インプットレベルを調整する］

- **TUNER FM/AM**、**AUX**、**CD ►/II** キーを押すと、その入力に切り換わります。
  TUNER FM/AM キーは押すたびに FM 放送、AM 放送と切り換わります。

CD を選んだとき

3. 音量を調整する

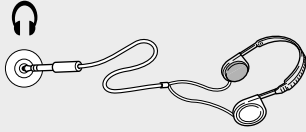
音量を下げる　音量を上げる

- 表示部に目安の数字が表示されます。
- リモコンのときは、**VOLUME UP** または **DOWN** キーを押します。

VOLUME 20

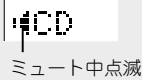
音量の表示

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

一時的に音を消す（MUTE）

リモコンのみ

ミュート中点滅

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

音質の調整（TONE 機能）

低音域と高音域の調整をします。

❶ 音域を選びます

本体　　　リモコン

押すたびに切り換わります。

① BASS 0

"BASS"（低音域）の調整

② TREBLE 0

"TREBLE"（高音域）の調整

③ 元の表示

（20 秒以内に手順 ❷ を行う）

❷ 調整する

本体　　　リモコン

（他の音域を選ぶ時は手順 ❶、❷ を繰返します）

- “BASS”、“TREBLE” とも2ステップごとに、－8～＋8の範囲で調整できます。
- 音質の調整（TONE 機能）とEX.BASS 機能は、同時に働かせることはできません。

低音を強調する（EX. BASS 機能）

本体　　　リモコン

押すたびに切り換わります。

① EX.BASS 点灯
低音域を強調します。
"EX.BASS ON" が表示されます。

② 消灯
TONE 機能で調整された音になります。
"SOUND MODE OFF" が表示されます。

- EX.BASS 機能と音質の調整（TONE 機能）は、同時に働かせることはできません。

バランスの調整（BALANCE 機能）

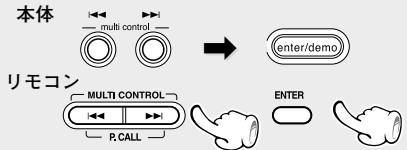
左右の音のバランスを調整します。

❶ mode キーを押す

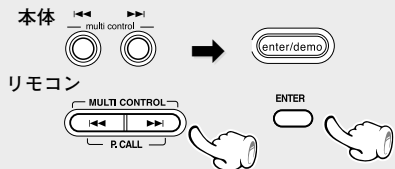
本体　　　リモコン

❷ ◀◀ または ▶▶ キーを押して "BALANCE" を選び、enter/demo キーを押す

本体

リモコン

❸ ◀◀ または ▶▶ キーを押してバランスを調整し、enter/demo キーを押す

本体

リモコン

CDを聴く

CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

再生／一時停止する

CDを取り出す

再生を止める

早送り・早戻しする

曲を飛び越す

好きな曲から聴く

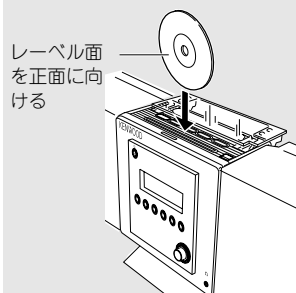
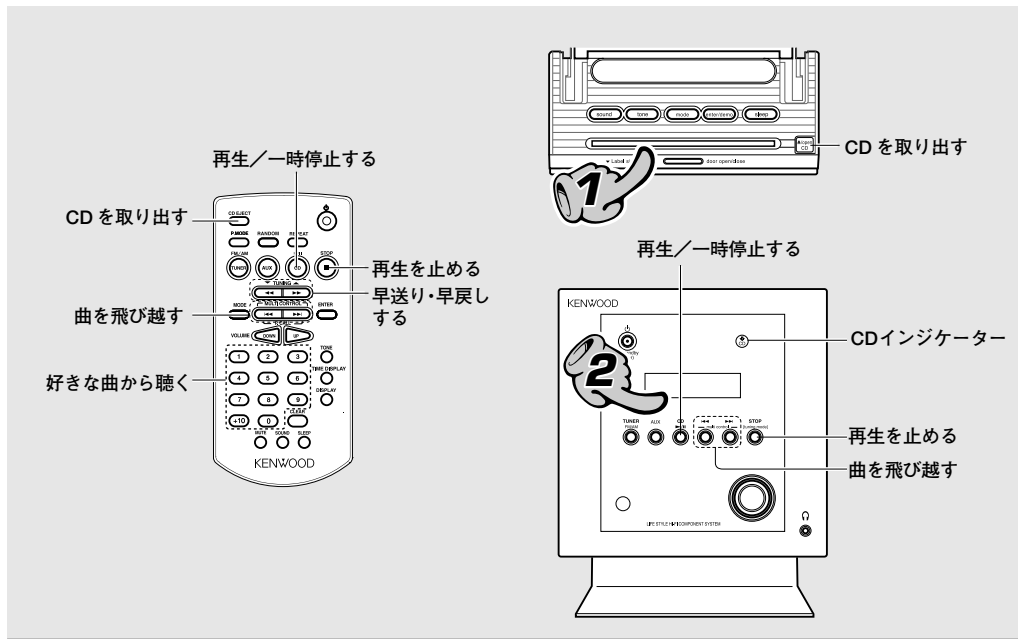
CDを取り出す

再生／一時停止する

CDインジケーター

再生を止める

曲を飛び越す

レーベル面を正面に向ける

1. CDを入れる

本体のdoor open/close（ドア オープン/クローズ）キーを押してドアを開けてから、CD挿入口の中央にCDを静かに入れます。途中までCDを入れると自動的に引き込まれます。

- 再生面には触れないでください。
- CDを入れると本体正面のCDインジケーターが点灯します。CDインジケーターが点灯しているときは、入っているCDを取り出してから、聴くCDを入れてください。
- 特に8cmCDの場合、CD挿入口の中央からずれているとCDが引き込まれません、ご注意ください。
- CDが引き込まれないときは、CDを引き出し、入れ直してください。

スタンバイ状態時は、CDの出し入れはできません。
スタンバイ状態時に無理にCDを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

- 数秒後に1曲目から再生がはじまります。
  再生が始まると、ドアが自動的に閉まります
- CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

再生中のトラック番号

再生中の曲の経過時間

再生／一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

リモコンのみ

数字キーを押す順序は

23 曲目なら .... +10、+10、3
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0

早送り・早戻しする

リモコンのみ

● 再生中に押しつづけます。指を離したところから再生されます。

曲を飛び越す

● 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生されます。
● 再生中に⏮キーを押すと、その曲の最初に戻ります。さらに手前の曲に飛び越すときは素早く⏮キー を押します。
● 停止中に ⏮ または ⏭ キーを押して曲を飛び越した場合、飛び越した後自動的に再生がはじまります。

CD を取り出す

本体

▲/open CD

リモコン

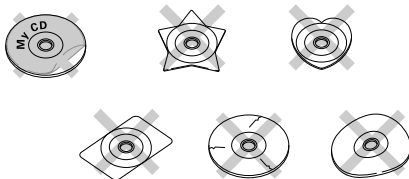
CD EJECT

● ドアが閉じているときは、ドアが開いてからCDがCD挿入口に出てきます。
もう一度 **▲/open CD**キー（リモコン：**CD EJECT**キー）を押すと、さらにCDが上に出ます。8cmCDなど取りにくいときは、**▲/open CD**キー（リモコン：**CD EJECT** キー）を２回押すと便利です。

ドアは開いたまま長い間放置しないでください。
ドアを閉めるときは、**door open/close** キーを押します。CD が挿入口にあるときでもドアは閉まります。ただし、**▲/open CD** キーを２回押して CD を取り出したときは、**door open/close** キーを押してもドアは閉まりません。CD を挿入口から取り出してドアを閉めてください。

ラベルなどを貼りつけたCDはご使用にならないでください。故障の原因となります。

変形CD（星形、ハート形、カード形等）、ひび割れがあるCD、大きくそったCD、CD保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

本機は、CDを光学的に検知して内部へ引き込むため、透明なCDは使用することはできません。

CD プレーヤーの時間表示について

TIME DISPLAY キーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

リモコンのみ

① **曲の経過時間**

EX.BASS
CD T01
0:00

② **曲の残り時間**

③ **CD 全体の経過時間**

④ **CD 全体の残り時間**

EX.BASS
CD T01
-54:20T

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、① と ② のみ表示されます。
- プログラムモードのときには、③ はプログラム全体の経過時間、④ はプログラム全体の残り時間が表示されます。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると "**– –:– –**" と表示されます。

表示の切り換えについて

DISPLAY キーを押すたびに表示部の表示が切り換わります。

リモコンのみ

① **CD プレーヤーの時間表示**
② **タイトル表示**
（CD-TEXT 対応ディスクのときのみ）
③ **時計表示**

EX.BASS
CD T01
SUN 12:00am

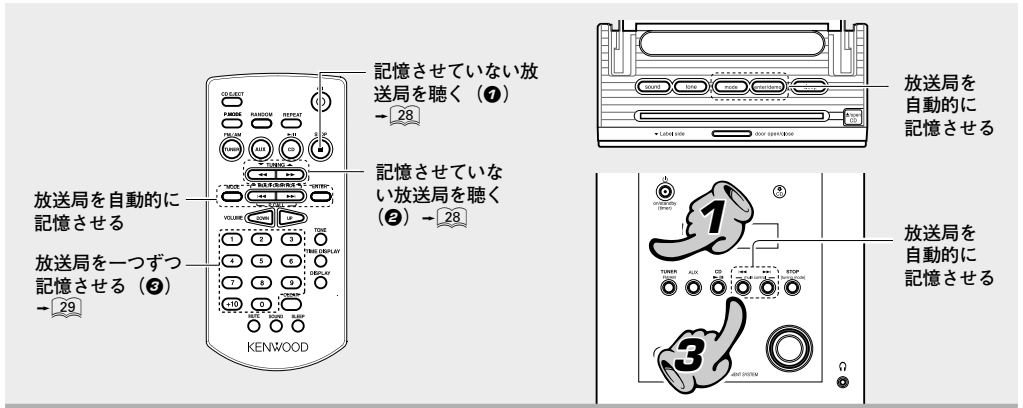
- 通常の CD（CD-TEXT に対応していないディスク）のときは、**DISPLAY** キーを押すたびに①と③が表示されます。
- タイトル表示は、停止中はディスクのタイトル、再生中は曲のタイトルが表示されます。]
- **"CHECK DISC"** が表示されているときは、表示を切り換えることはできません。→45

CD-TEXT 対応ディスクのタイトル表示について

本機は、タイトルがアルファベットや数字で収録されているCD-TEXT対応ディスクの文字情報が表示できます。入力切換が CD のとき、CD-TEXT 対応のディスクを本機に入れるとディスクタイトルが表示されます。タイトルが長い場合はスクロール表示されます。
CD-TEXT 対応のディスクを再生すると曲のタイトルが表示されます。

- CD-TEXT 対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が 1536文字を超えると "**TEXT FULL**" と表示されます。

ラジオ放送を聴く

TUNER（チューナー） FM/AM キーを押すだけで電源がオンになり、受信状態になります。

1. 入力を FM または AM にする

TUNER（チューナー） FM/AM キーを押すたびに次のように切り換わります

FM ⟺ AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） →26

お住まいの都道府県名を選ぶと、受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名が（FM 放送のみ）表示されます。

- 転居したときや改めて全局記憶させるときは、再度オートプリセットの操作をしてください。

放送局を一つずつ記憶させる（マニュアルプリセット）→29

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは "**記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)**" をお読みください。→28

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、⏮ または ⏭ を押して選局します。

⏭ を押すと : P01 → P02 → P03 ..... P38 → P39 → P40 → P01 .....
⏮ を押すと : P40 → P39 → P38 ..... P03 → P02 → P01 → P40 .....

- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンでは、⏮ P.CALL（プリセットコール） ⏭ キーあるいは数字キーを押して選局します。

数字キーを押す順序は

12 なら .... +10、2
20 なら .... +10、+10、0

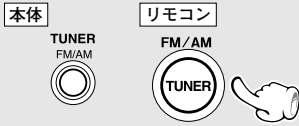
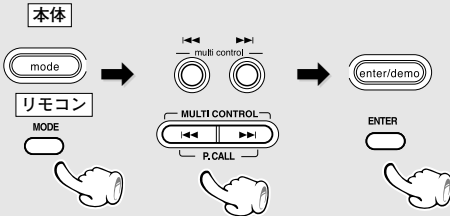
受信すると表示（アンテナマーク）

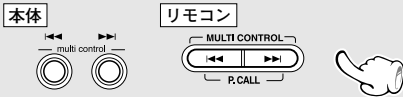
ステレオ受信時に点灯

AUTO TUNE STEREO
TUNER P02
FM 81.30MHz

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

❶ 入力切換を FM または AM にする

❷ " ケンメイ　セッテイ " を選ぶ

（" ケンメイセッテイ " が点滅中に enter/demo キーを押す）

❸ お住まいの都道府県名を選ぶ

❹ オートプリセットを始める

メモ　オートプリセットはFMとAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録できます。
放送局名表示は " エリア別FM放送局名自動表示リスト " に載っているFM放送局のみに対応しています。→27

⏮または⏭キーを押して、" ケンメイ　セッテイ " を選ぶ

```
MODE
ｹﾝﾒｲ ｾｯﾃｲ
```

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、" **ミセッテイ** " と表示されます。

```
ｹﾝﾒｲ ｾｯﾃｲ
ﾄｳｷｮｳ
```

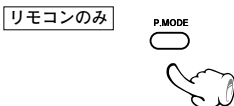
" **トウキョウ** " を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、" **エリア別FM放送局名自動表示リスト** " に従ってオートプリセットされます。

```
TUNER    P--
AUTO PRESET
```

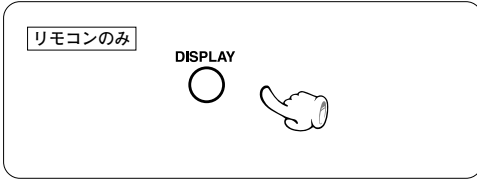
- "**AUTO PRESET**" 表示が点滅し、FM局➡AM局の順に記憶していきます。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および 電波が弱くアンテナマークが点灯していない場合は、放送局名は表示されせん。
- オートプリセットが終ると、一番最初に記憶された放送局名が表示されます。
- すでに記憶されている放送局は書き換えられます。

希望の放送局名が表示されないとき

地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されないときは、リモコンのP.MODEキーを押してリストにある別の放送局名にかえることができます。押すたびに切り換わります。

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2003年4月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G’
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエムアキタ
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FM GUNMA
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM NIIGATA
	長野エフエム放送	FM NAGANO
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	岐阜FM放送	ギフFM
	新潟県民エフエム	FmPort.com
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	e - radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	Passion Wave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	AFNオキナワ	AFNオキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

表示を切り換える

押すたびに次のように切り換わります。

オートプリセットで記憶したとき：

FM放送局名 ➡ 周波数 ➡ 時計 ➡ の順に切り換わります。

- 電波の受信状態などで、FM放送局名が表示されないことがあります。

オートプリセットで記憶していないとき：

周波数 ⬌ 時計に切り換わります

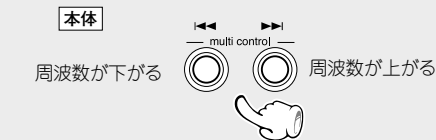
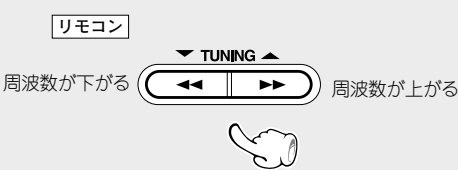
記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。

電波の状態が良いとき ： オート選局モード

電波が弱く雑音が多いとき ： マニュアル選局モード

- FM放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える

押すたびに切り換わります。

① **" オート選局 "** ：ステレオ受信（"**AUTO TUNE**" 点灯）

② **" マニュアル選局 "** ：モノラル受信（"**AUTO TUNE**" 消灯）

- 通常はオート選局（ステレオ受信）を選んでください。

❷ 選局をする

リモコン

オート選局のとき：

TUNING ▲または**TUNING**▼ キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：

受信するまで繰り返し **TUNING** ▲または **TUNING** ▼キーを押します。または受信したい放送局の周波数になるまで **TUNING** ▲または **TUNING** ▼ キーを押し続け、指を離します。

本体

表示部に "AUTO TUNE" または "MANUAL TUNE" が表示されている間に、⏮ または ⏭ キーを使って操作します。

- **"AUTO TUNE"”** または **"MANUAL TUNE"** が消えたときは、もう一度 **STOP/[tuning mode]**キーを押してから操作してください。

オート選局のとき：

⏮ または ⏭ キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：

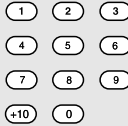
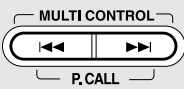
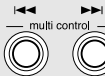
受信するまで ⏮ または ⏭ キーを繰り返し押します。または受信したい放送局の周波数になるまで ⏮ または⏭ キーを押し続け、指を離します。

放送局を一つずつ記憶させる（マニュアルプリセット）

❶ "記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中に ENTER キーを押す

（"MEMORY" 表示中に、手順 ❸ へ）

❸ 1 〜 40 までのプリセット番号を選ぶ

❹ もう一度 ENTER キーを押す

（続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順 ❶、❷、❸、❹ を繰り返す）

AUTO TUNE STEREO
MEMORY P--
FM 76.10MHz

"MEMORY" 表示(20 秒間)

- FMとAM放送局合わせて最大40局まで放送局を記憶できます。

AUTO TUNE STEREO
MEMORY P17
FM 76.10MHz

- すでに記憶されている番号に重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。
- リモコンの数字キーを使うときは、次のように押します。

  数字キーを押す順序は

  12 なら .... +10、2

  20 なら .... +10、+10、0

プリセットした放送局を消す

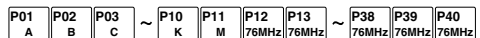
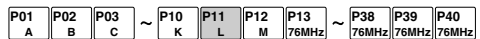
❶ リモコンの数字キーまたは |◀◀ P.CALL ▶▶| キーを使って消去したい放送局を選ぶ

❷ CLEAR キーを押す

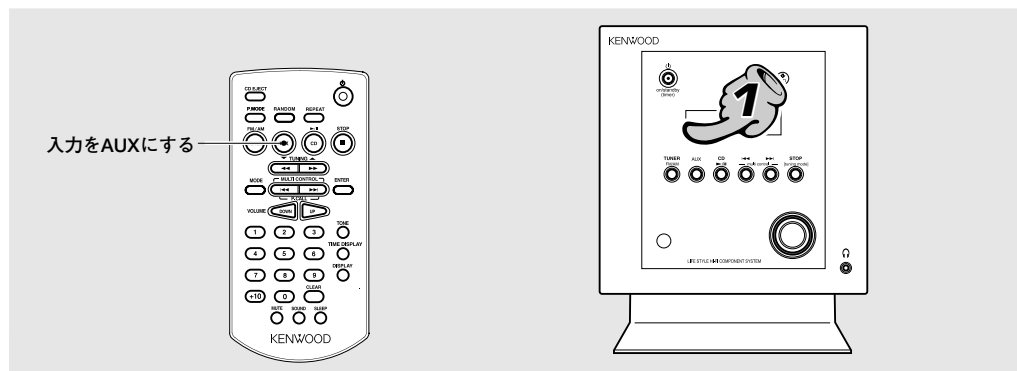
"CLEAR?" と約 8 秒間表示されます。

❸ "CLEAR?" が表示されている間に ENTER キーを押す

放送局がプリセットから消去されます。

プリセット 11（P11）に記憶させた L 局を消去する例：

- 消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は前に調整されます。
  ただし、プリセット番号 40に記録された放送局は消去できません。

外部入力機器からの音を聴く

AUX キーを押すだけで電源がオンになります。

1. 入力を AUX にする

AUX キーを押します。

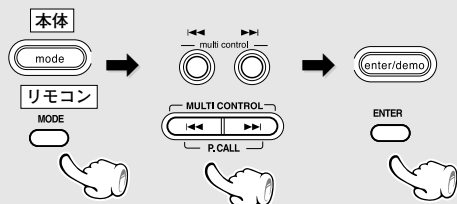
EX.BASS
AUX
SUN 12:00am

2. 接続した機器を再生する

AUX からの入力レベルを調整するときは、
下の説明「インプットレベルを調整する」をご覧ください。

インプットレベルを調整する（入力が AUX のとき操作します）

AUX 入力端子に接続された外部機器（ビデオデッキ等）からのインプットレベルを調整します。CD 等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整してください。

❶ mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "AUX INPUT" を選び、enter/demo キーを押す

（"AUX INPUT" が点滅中に enter/demo キーを押す）

❷ ⏮ または ⏭ キーを押してインプットレベルを選ぶ

❸ enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

"TIMER SET"
"AUX INPUT"
"BALANCE"
"A.P.S. SET"
"DISPLAY SET"
"TIME ADJUST"

● −3～+3 の範囲で調整ができます。

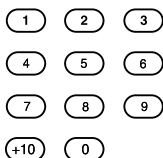
CD のいろいろな再生

曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます（最大 32 曲）。リモコンを使って操作します。

入力を "CD" にする。停止中に操作してください。

1 "PGM" モードを選ぶ

P. MODE キーを押す

2 聴きたい順に曲を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

（20 秒以内に手順 ❷ を行う）

プログラム順位　選曲

CD P01←T05
PGM SET

数字キーを押す順序は
12 曲目なら .... +10、2
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0

- 曲は ◄◄ または ►►I キーでも選ぶことができます。

❷ 確定する

（2 曲以上選ぶときは手順 ❶、❷ を繰り返す）

- 32 曲までプログラムできます。"**PGM FULL**" が表示されると、それ以上プログラムできません。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- プログラム時間の合計が 1000分以上になると、時間表示が "**ー ー：ー ー**" になります。
- ❶ で曲（トラック番号）を間違えたときは、**STOP** キーを押してから選び直します。
  ❷ の後、プログラムを修正したいときは、「**プログラムした曲を取り消すには**」（→32）の操作をしてください。

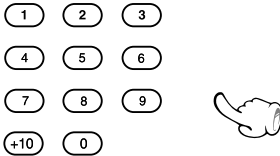
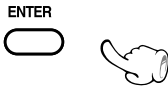
3 再生する

- プログラムで選んだ順（P 番号順）に再生されます。
- 再生中に I◄◄ キーを 1 回押すと、再生中の曲を最初から再生します。
  前の曲へ飛び越すときは、I◄◄ キーを 2 回押します。
- 再生中に ►►I キーを 1 回押すと、次の曲へ飛び越して再生します。

曲を追加するには

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

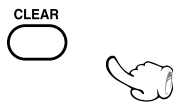
停止中に押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
+10 0

❷ ENTER(エンター) キーを押す

数字キーを押す順序は

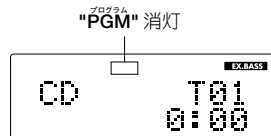
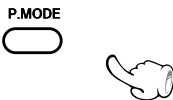
12 曲目なら .... +10、2
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0

- 曲は ⏮ または ⏭ キーでも選ぶことができます。

- 最大 32 曲までプログラムできます。"**PGM(プログラム) FULL(フル)**" が表示されると、それ以上プログラムできません。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

P10 が取り消されたとき

- 押すたびに、最後の曲から 1 曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

- 電源をオフにしたり、CD を取り出すと、プログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容は消えます。

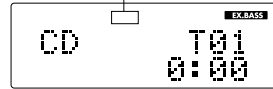
繰り返し聴く（リピート再生）

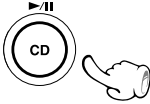
お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。リモコンを使って操作します。

入力を "CD" にする。

1 曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM" 表示の消灯を確かめる

● "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE** キーを押して消灯させてください。

"PGM" 消灯

❷ 繰り返したい曲を再生する

❸ "REPEAT 1" を選ぶ

押すたびに切り換わります。

① **"REPEAT 1"**

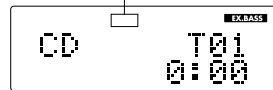
② **"REPEAT"**

③ **消灯 ....** リピート解除

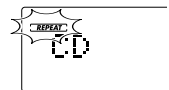
全曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM" 表示の消灯を確かめる

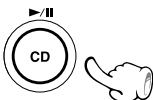
● "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE** キーを押して消灯させてください。

"PGM" 消灯

❷ "REPEAT" を選ぶ

押すたびに切り換わります。

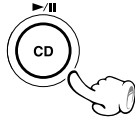
① **"REPEAT 1"**

② **"REPEAT"**

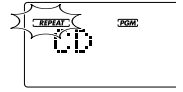
③ **消灯 ....** リピート解除

❸ 再生する

選んだ曲だけを繰り返し聴くとき

❶ "曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順 1 と 2 までを行い、聴きたい曲をプログラムする →31

❷ "REPEAT" を選ぶ

❸ 再生する

REPEAT キーを押すたびに切り換わります。

① "REPEAT"
② 消灯 .... リピート解除

- 選んだ曲全部を繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーをリピートモードが解除になるまで押します。

- "REPEAT" 表示が消灯し、通常再生に戻ります。

曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生）

毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。リモコンを使って操作します。

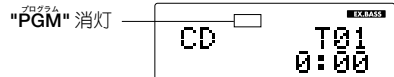
入力を "CD" にする。

❶ "PGM" 表示の消灯を確かめる

- "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE キーを押して消灯させてください。

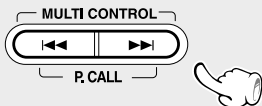
"PGM" 消灯

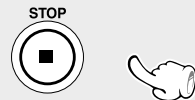
CD T01 0:00

❷ RANDOM キーを押す

押すたびに切り換わります。

① "RANDOM" 点灯（ランダム再生する）
② "RANDOM" 消灯（通常の再生）

- 全曲の再生が 1 回終わると停止します。
- REPEAT キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

- ⏮ キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

- "RANDOM" 表示が消灯し、再生が停止します。

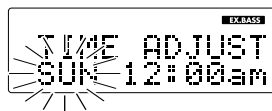
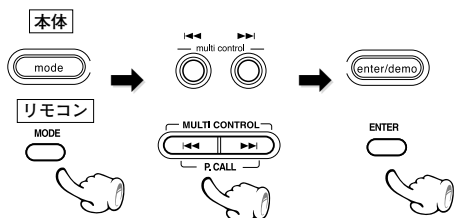
時刻合わせ

時計として使うだけでなく、タイマーを使うためにも必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

1 時刻合わせモードにする

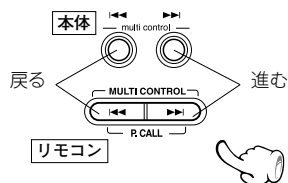
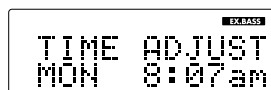
❶ mode キーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "TIME ADJUST" を選び、enter/demo キーを押す

EX.BASS
TIME ADJUST
SUN 12:00am

● 曜日が点滅を始めます。

2 曜日、時、分を合わせる

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して曜日を合わせ、enter/demo キーを押す

❷ 同様に「時」を合わせてから、「分」を合わせる

月曜日午前 8 時 7 分に合わせる例：

● **「曜日」を合わせてから enter/demo** キーを押すと「時」が点滅し、**「時」を合わせてから enter/demo** キーを押すと「分」が点滅します。
● **時間は 12 時間（am/pm）で表示されます。**
昼の 12 時は "12:00pm"、夜の 12 時は "12:00am" と表示されます。

● 間違えたときは、はじめからやり直してください。
● **enter/demo** キーを押して、設定が終了すると "**COMPLETE**" と表示します。
● 本機の時計は、ACアダプタを抜いても約3分間程度保持されます。
● 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
● 電源がスタンバイ状態のとき、**STOP** キーを押すと8秒間時刻が表示されます。

タイマーを使う

おやすみタイマー（SLEEP）

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

ウィークリータイマー再生（PROG. 1 , PROG. 2）

→ 37

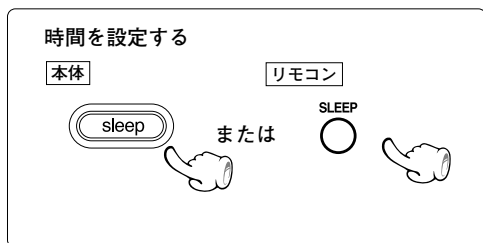
設定した時間帯に選んだソースを再生します。

ウィークリー AI タイマー再生（PROG. 1 , PROG. 2）

→ 37

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

おやすみタイマー（SLEEP）

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

おやすみタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。（オートディマー機能）

- 一回押すごとに 10 分ずつ増えていきます。最大 90 分まで設定できます。

  10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....

  SLEEP 30

  セットする時間

- sleep キーを押すと表示部のバックライトが暗くなります。
- 設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。
- おやすみタイマーの動作中に、sleep キーを1回押すと、残り時間の確認ができます。

解除するには

電源をオフ（スタンバイ）にする、または sleep キーを解除になるまで繰り返し押す。

プログラムタイマーを設定する

PROG. 1 、PROG. 2 には、働く時間帯と内容を予約します。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。 →35
" 他の機器（市販品）との接続 " を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →11

1 聴くための準備をする

CD を聴く	ラジオを聴く	外部入力ソースを聴く
CD を入れる（通常再生だけできます。）	放送局をプリセットしておく。→26 →29	AUX 端子に接続した機器のタイマー設定をする。

- タイマー予約は、PROG. 1 と PROG. 2 の２系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1 と PROG. 2 の働く時間帯が重ならないように、1 分以上の間隔をあけて予約してください。

2 プログラムタイマーの番号を設定する

❶ mode キーを押して設定モードにし、⏮ または ⏭ キーを押して "TIMER SET" を選び、enter/demo キーを押す

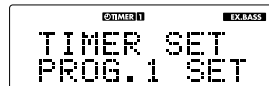
⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

- "TIMER SET"
- " ケンメイ セッテイ "（入力がチューナーのときのみ）
- "AUX INPUT"（入力が外部入力のときのみ）
- "BALANCE"
- "A.P.S. SET"
- "DISPLAY SET"
- "TIME ADJUST"

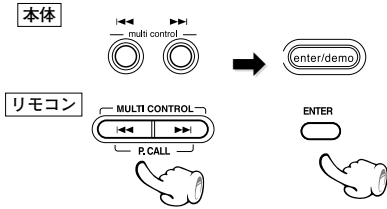
❷ "PROG.1 SET" または "PROG.2 SET" を選び、enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "PROG.1 SET"（TIMER 1 点灯）
② "PROG.2 SET"（TIMER 2 点灯）

TIMER 1　EX.BASS
TIMER SET
PROG.1 SET

- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

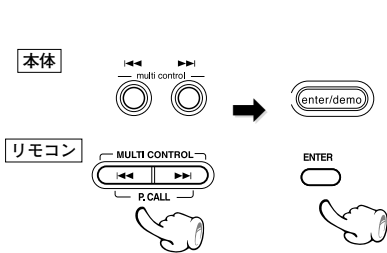
3 プログラムタイマーのON/OFFを選ぶ

"ON" または "OFF" を選び、enter/demo キーを押す

① "ON" ：タイマーは働く
② "OFF" ：タイマーは働かない

- "OFF" を選ぶと元の状態に戻ります。
- すでにプログラムタイマーがセットされているとき、"OFF"を選ぶと、プログラムタイマーが解除されます。

前回設定したタイマーを再び働かせるには
以降の各設定では、前回設定した内容が始めに表示されます。設定内容を変更しない場合は、**enter/demo** キーのみを押します。

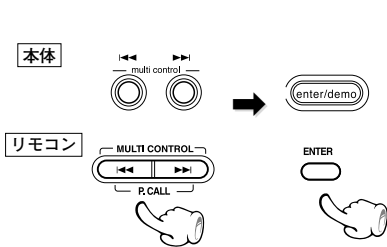
4 タイマーを動作させる曜日を選ぶ

曜日を選び、enter/demo キーを押す

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

"EVERYDAY"（毎日） 解除するまで動作するタイマー
"MONDAY"（月曜日）
"TUESDAY"（火曜日）
"WEDNESDAY"（水曜日）
"THURSDAY"（木曜日）
"FRIDAY"（金曜日）
"SATURDAY"（土曜日）
"SUNDAY"（日曜日）
1回の動作または毎週動作を選べるタイマー 手順 5 へ進みます。
"MON-FRI"（月曜日～金曜日）
"TUE-SAT"（火曜日～土曜日）
"SAT-SUN"（土曜日～日曜日）
解除するまで動作するタイマー

- **解除するまで動作するタイマー**を選んだときは、手順 6 へ進みます。

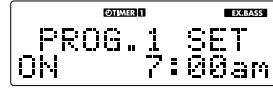
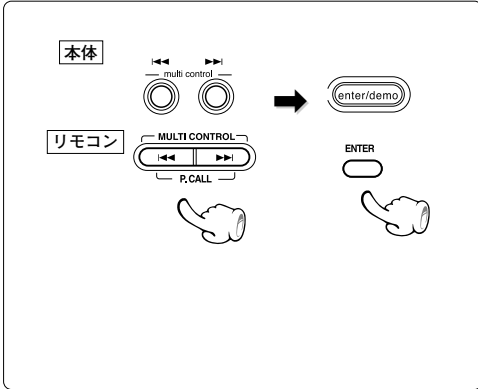
5 ONETIME または EVERY WEEK を選ぶ

"ONETIME" または "EVERY WEEK" を選び、enter/demo キーを押す

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

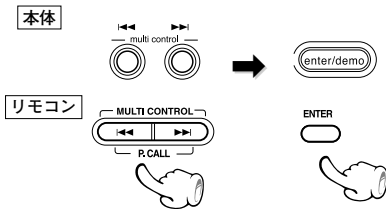
① **"EVERY WEEK"**：毎週タイマーが実行されます。
② **"ONETIME"**：タイマーが1度実行されると、タイマーオフ状態になります。

6 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

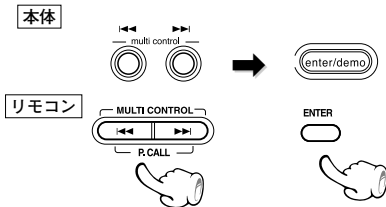
TIMER 1 EX.BASS
PROG.1 SET
ON 7:00am

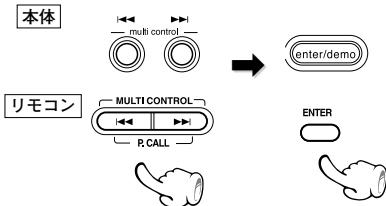
TIMER 1 EX.BASS
PROG.1 SET
OFF 8:00am

- オン時刻とオフ時刻ともに、時を入力した後、同じ手順で分を入力します。
- 間違えたときは、mode キーを押して、手順 2 からやり直してください。

7 希望の予約を設定する

❶ ⏮ または ⏭ キーを押して "PLAY " または "AI PLAY" を選び、enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように変わります。

① **"PLAY"**（タイマー再生）
② **"AI PLAY"**（だんだん音が大きくなるタイマー再生）

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して再生の音量を調整し、enter/demo キーを押す

- "PLAY"：ここで設定した音量で再生されます。
- "AI PLAY"：タイマーの再生が始まると、除々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。
- 現在聴いている音量は変わりません。

❸ ⏮ または ⏭ キーを押して入力ソース（何を聴くか）を選び、enter/demo キーを押す

⏮ または ⏭ キーを押すたびに、次のように変わります。

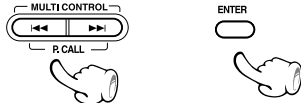
① **"PLAY TUNER"**（ラジオ）
② **"PLAY CD"**
③ **"PLAY AUX"**（外部入力、ビデオなど）

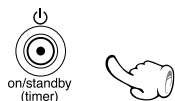
- **"PLAY CD"**、**"PLAY AUX"** を選んだときには、**enter/demo** キーを押すと設定が終了し **"COMPLETE"** と表示されます。

次のページに続く

入力ソースが TUNER 時のみ

❹ |◀◀ または ▶▶| キーを押して受信する放送局のプリセットチャンネルを選び、enter/demo キーを押す

- enter/demo キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE" と表示されます。

予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

8 電源をオフ（スタンバイ）にする

- タイマースタンバイ状態になると on/standby (timer) インジケーターが緑色に点灯します。
- タイマー設定後、電源がオフ（タイマースタンバイ）中に、停電などがあったときは、on/standby (timer) インジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

プログラムタイマーを解除するには

手順 1 ～ 3 の操作をし、手順 3 で "OFF" を選びます。

- タイマーのオン／オフを確認するには、電源がオンのときに ⏲TIMER 1 、⏲TIMER 2 が点灯していれば、それぞれのプログラムタイマーはオンになっています。

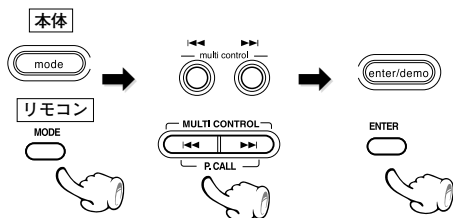
表示部の調整やインジケーターの設定をする

"CONTRAST" で表示部の濃さの調整、"BACK LIGHT" で表示部の明るさの設定、"LIGHT SET" で本体 CD キーのインジケーターの設定ができます。

1 調整や設定をする項目を選ぶ

❶ mode キーを押してから、|◀◀ または ▶▶| キーを繰り返し押して "DISPLAY SET" を選び、enter/demo キーを押す

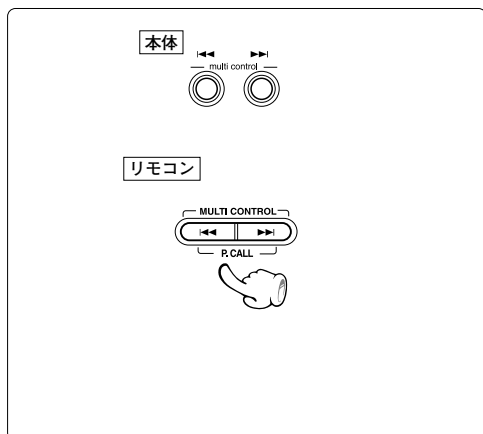
EX.BASS
MODE
DISPLAY SET

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを繰り返し押して調整や設定をする項目を選び、enter/demo キーを押す

|◀◀ または ▶▶| キーを押すたびに、次のように切り換わります。

① "CONTRAST"：
表示部の濃さを調整するとき選びます。

② "BACK LIGHT"：
表示部の明るさを設定するとき選びます。

③ "LIGHT SET"：
CD キーのインジケーターの設定をするときに選びます。

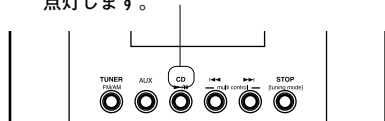
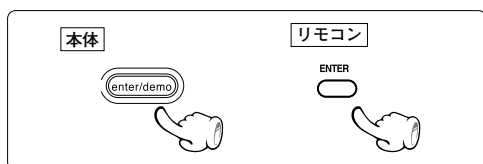
2 調整または設定をする

"CONTRAST" を選んだとき：

▶▶| を押すと濃くなり、|◀◀ を押すと薄くなります。

"BACK LIGHT" を選んだとき：

"BACK LIGHT HIGH"（明るくする）または "BACK LIGHT LOW"（暗くする）を選びます。

"LIGHT SET" を選んだとき：

"ON" または "OFF" を選びます。"ON" を選ぶと CD を再生中にゆっくりとした点滅表示になり、"OFF" を選ぶと点灯になります。

3 確定する

知っておきましょう

メンテナンス

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。**シンナー、ベンジン、アルコール**などは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ CD を取り出す

❷ CD ▶/❚❚ キーを押す

❸ しばらく待って、表示部が図の表示になったことを確かめる

NO DISC

❹ 数秒間待って、電源をオフにする

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜いた後約1日バックアップするメモリーの内容：

入力切り換え
音量の設定
AUX インプットレベルの設定
TONE（トーン）機能の設定
タイマーの設定内容
表示部のコントラスト、バックライトの設定
本体 CD キーインジケーターの設定
オートパワーセーブの設定

- **チューナー関係**
  プリセット放送局
  選局方法の設定（オート、マニュアル選局）

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CD-R、CD-RW および CD-G/CD-EG（CD グラフィックス）、CD-EXTRA の音声部分が再生できます。

CD ディスクのご注意

レーベル面に COMPACT disc のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

透明なディスクについて

本機は、CDを光学的に検知して内部へ引き込むため、透明なCDは使用することはできません。

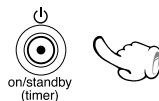
故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされます。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、⏻キーを押しながら、差し込み直す。

マイコンをリセットすると **"INITIALIZE"**（イニシャライズ）が表示されます。

INITIALIZE

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →10 →13 ● 音量を上げる。 →20 ● MUTE（ミュート）をオフ（解除）にする。 →21 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く →21
"on/standby (timer)"（オン スタンバイ タイマー） の表示が赤く点滅し,音が出ない。	● 使用を中止する。内部的な不具合が発生したことが考えられます。電源を切り、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。
"on/standby (timer)"（オン スタンバイ タイマー） の表示が緑色に点滅する。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →35 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →37
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →21 ● 音量を上げる。 →20
スピーカーの片側から音が出ない。	● "**スピーカーコードの取り替え**" をみて正しく接続し直す。 →13
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →35
タイマーが作動しない。	● "**時刻合わせ**" をみて現在時刻を合わせる。 →35 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →37

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →10 →11 ● 放送バンドを合わせる。 →25 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →28
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
オートプリセットしたあと、P.CALL（プリセットコール） キーを押しても受信できない。	● もう一度オートプリセットする。 →26 ● 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。 →29

CDプレーヤー部

症　状	処　置
CDが引き込まれない。	● 挿入口の中央にCDを入れる →22 ● 本機はCDを光学的に検知して内部へ引き込むため、透明なCDは使用できません。
CDを入れても再生できない。	● レーベル面を正面にして、正しく入れる。 ● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →43 ● "**結露にご注意**" を参照し、露を蒸 発させる。 →42
音声が出ない。	● **CD ▶/II** キーを押す。 ● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →43
音とびがする。	● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →43 ● 震動のない場所に設置する。
DISPLAYキーを押しても表示が切り換わらない。	● **CHECK DISC**（下の"**メッセージ表示の一覧**"参照）が表示されているときには、表示は切り換わりません。

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →18 ● 操作範囲内で操作する。 →18

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
CHECK DISC	● TOC* 情報を読むことができない。 ● ディスクが正しく挿入されていない。
PGM FULL	● CD のプログラムで 33 曲目を選択しようとしている。プログラムできるのは 32 曲までです。
READING	● TOC* 情報を読み込んでいる。
TEXT FULL	● 1536 バイト以上のテキスト情報がある **CD TEXT** のテキスト情報を表示しようとしている。
" ? " の点滅	● 設定を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。

* CD には音声信号以外に **TOC**（**Table of Contents**）という情報が記録されています。**TOC** とは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などが入っています。

定 格

アンプ部

実用最大出力......................... 5 W+5 W（JEITA 6 Ω）

チューナー部

FMチューナー部
　受信周波数範囲 ....76 MHz～90 MHz
　アンテナインピーダンス ....75 Ω
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz～1,629 kHz

CDプレーヤー部

読み取り方式..........................非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 bit
オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA) .... 20 Hz～20 kHz
ワウ・フラッター (JEITA)
.... 測定限界以下

電源部・その他

付属ACアダプタ（W09-1299）
.... DC 10 V（AC100 V、50 Hz/ 60 Hz）
待機時消費電力 ....0.5 W以下

スピーカー部

エンクロージャー ....バスレフ型
スピーカー構成
　フルレンジ ....80 mm コーン型
インピーダンス ....6 Ω
最大入力 .... 10 W

最大外形寸法、質量

最大外形寸法（スピーカーを取付けた状態）
....幅 442 mm
高さ 218 mm
奥行 163 mm
最大外形寸法（本体部のみ）
....幅 192 mm
高さ 218 mm
奥行 163 mm
最大外形寸法（スピーカー部のみ/1本）
....幅 130 mm
高さ 180 mm
奥行 120 mm
質量（重量）（スピーカーを取付けた状態）........4.6 kg
質量（重量）（本体部のみ） ....2.2 kg
質量（重量）（スピーカー部のみ/1本） ....1.2 kg

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　) 　　　　-

ケンウッドサービス網

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

2003月8月現在

北海道			
札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・甲信越			
埼玉サービスセンター	〒362-0032	上尾市日の出3-9-1	☎(048) 775-9730
千葉サービスセンター	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
東京サービスセンター	〒169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
神奈川サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
静岡サービスステーション	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
中部			
名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〒920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

カスタマーサポートセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 933-5133	FAX (045) 933-5553
カスタマーサポートセンター大阪	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8085	FAX (06) 6394-8308

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

KENWOOD

株式会社ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

**商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターをご利用ください。
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、上記の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。**